

## 認知症診断助成制度の実施状況

### 1. 認知機能検診（第1段階）

【受診状況（平成31年2月～令和3年11月末まで）】

	総数	疑いあり	疑いなし
受診者数	<b>44,129</b>	11,163 (25.3%)	32,966 (74.7%)

### 2. 受診券発送状況（令和3年12月末まで）

申込み	19,981
一斉送付	252,638
合計	272,619

### 3. 認知機能精密検査（第2段階）

【受診状況（平成31年2月～令和3年11月末まで）】

	総数	認知症	MCI	認知症でない
受診者数	<b>9,090</b>	5,192 (57.1%)	2,494 (27.4%)	1,404 (15.4%)

### 4. 実施医療機関数（令和3年12月末時点）

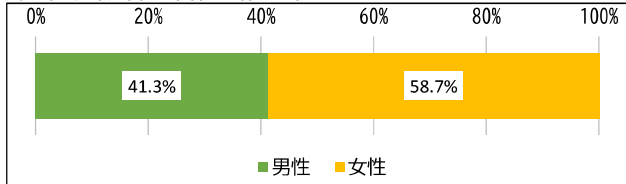
認知機能検診（第1段階） **453か所**（制度開始時：326か所）

認知機能精密検査（第2段階） **73か所**（制度開始時：53か所）

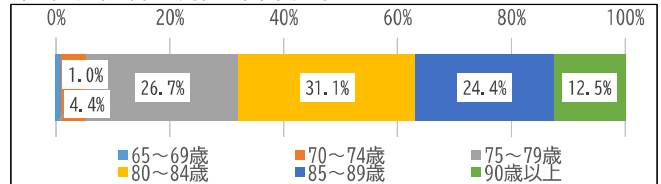
## ■第1段階（認知機能検診）の実施状況

受診者数：44,129人（平成31年2月～令和3年11月末まで）

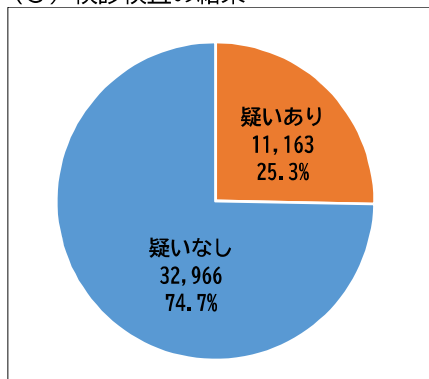
(1) 受診者の属性（性別）



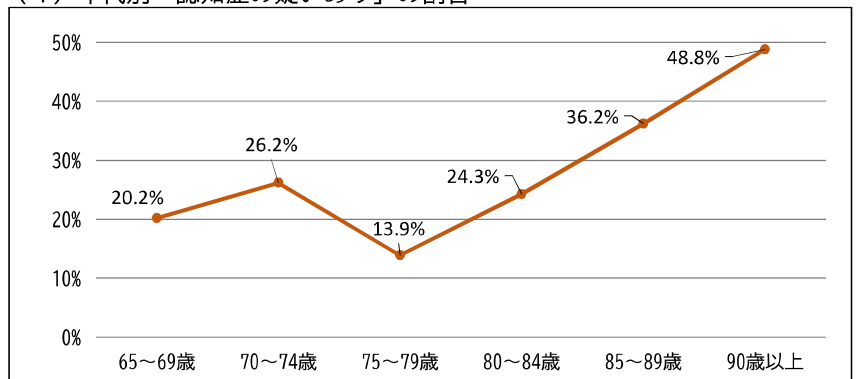
(2) 受診者の属性（年代別）



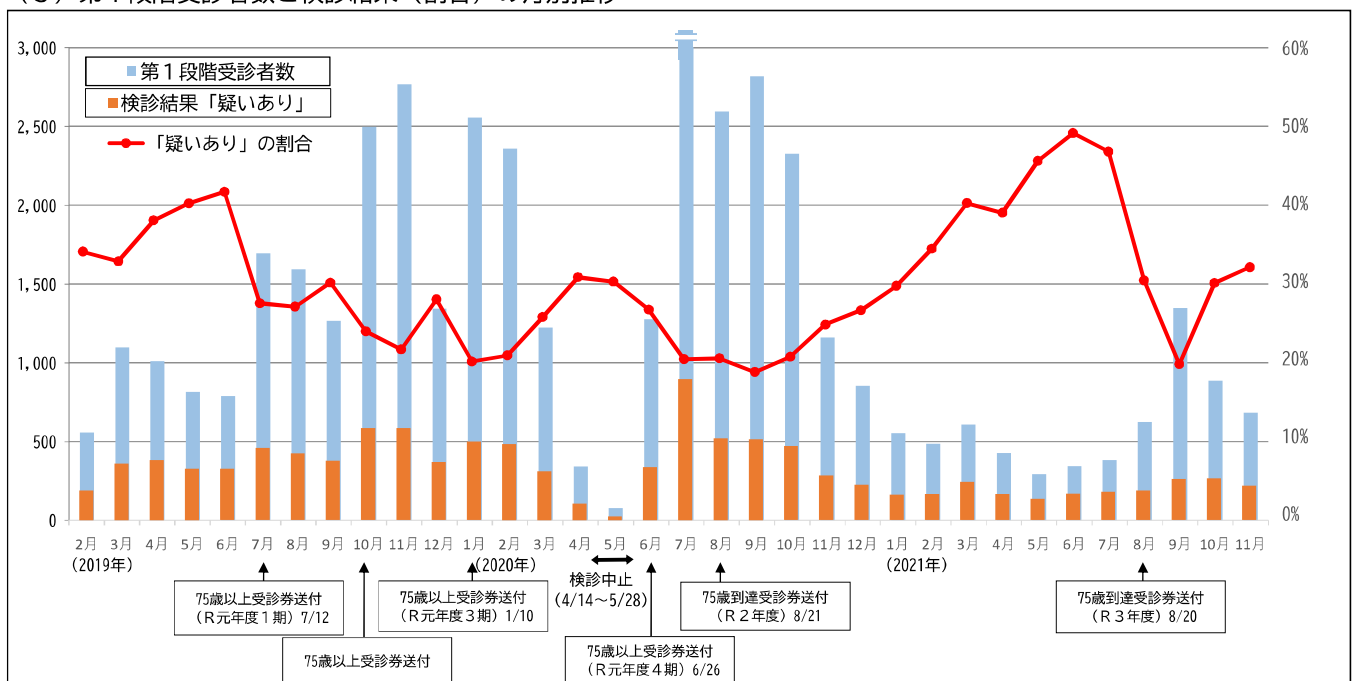
(3) 検診検査の結果



(4) 年代別「認知症の疑いあり」の割合



(5) 第1段階受診者数と検診結果（割合）の月別推移



## ■第1段階（認知機能検診）の実施状況

### （6）検診結果（HDS-R・DASC-21の実施状況）

	【HDS-R】	【DASC-21】
実施	44,115 人	44,120 人
実施不能	14 人	9 人
計	44,129 人	44,129 人

### （7）検診結果（HDS-R・DASC-21の平均値等）

		全体		
		疑いあり	疑いなし	全体
HDS-R	平均値	18.16	27.33	25.01
	中央値	19	28	27
	最頻値	20	29	29
	最小値	0	1	0
	最大値	30	30	30
DASC-21	平均値	37.24	24.22	27.51
	中央値	34	23	24
	最頻値	24	21	21
	最小値	21	21	21
	最大値	84	79	84

### （8）検診結果（検診結果とHDS-R・DASC-21）

		DASC-21			計	
		疑い該当	疑い非該当	検査不能		
疑いあり	HDS-R	疑い該当	4,931	2,228	3	7,162
		疑い非該当	2,272	1,717	2	3,991
		検査不能	10	0	0	10
		計	7,213	3,945	5	11,163
疑いなし	HDS-R	疑い該当	71	195	0	266
		疑い非該当	1,750	30,942	4	32,696
		検査不能	0	4	0	4
		計	1,821	31,141	4	32,966

\*HDS-R：改訂長谷川式簡易知能評価スケール（Hasegawa's Dementia Scale Revised version）

\*DASC-21：地域包括ケアシステムにおける認知症アセスメントシート（Dementia Assessment Sheet in Community-based Integrated Care System-21 items）

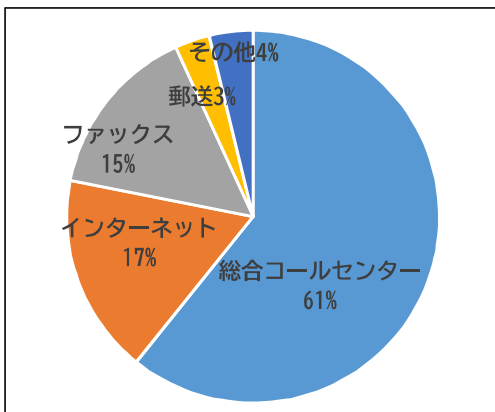
## ■認知機能検診受診券送付の実施状況

(1) 受診券の送付状況(平成31年2月～令和3年11月末まで)

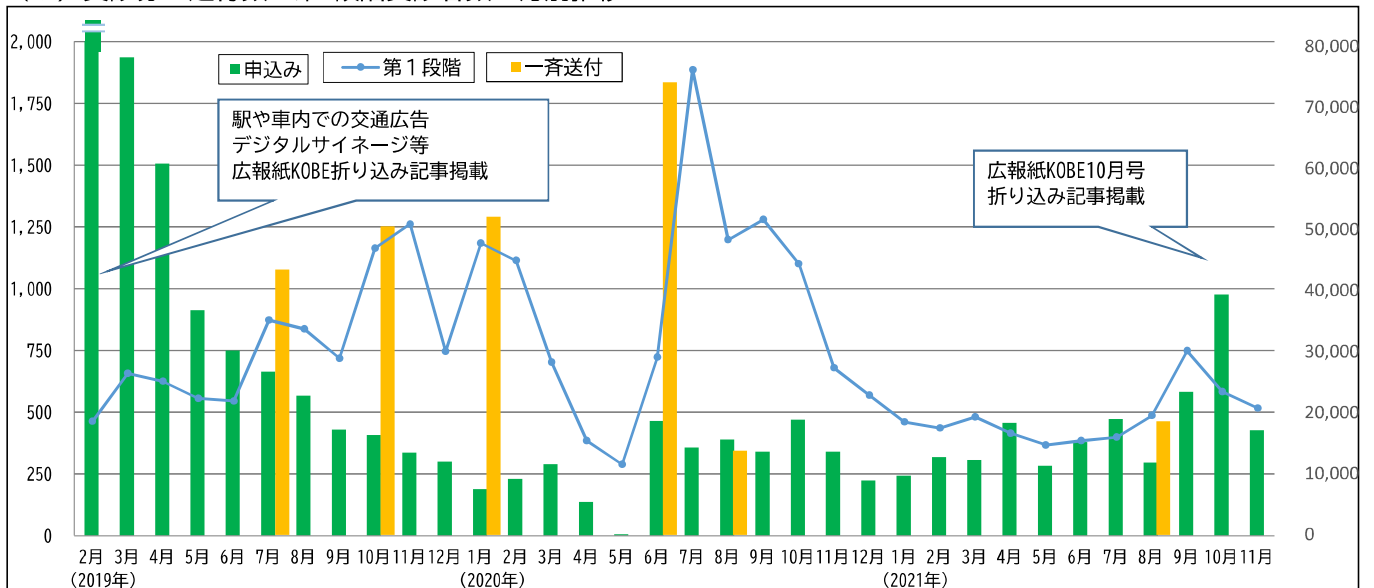
(人)

	年度	対象者	送付日	送付数
一斉送付	令和元年度	75歳以上全員		
		①7～9月生	2019/7/12	43,413
		②4～6月生	2019/10/11	50,535
		③10～12月生	2020/1/10	52,112
		④1～3月生	2020/6/26	74,176
	令和2年度	75歳到達者	2020/8/21	13,797
	令和3年度	75歳到達者	2021/8/20	18,605
	一斉送付合計			252,638
申し込み	申込数合計			19,981
合計				272,619

(2) 申し込み方法別の割合



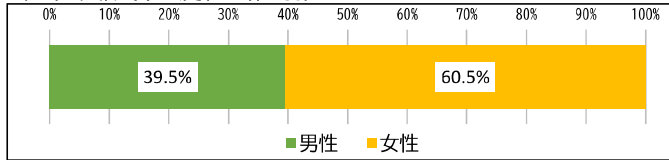
(3) 受診券の送付数と第1段階受診者数の月別推移



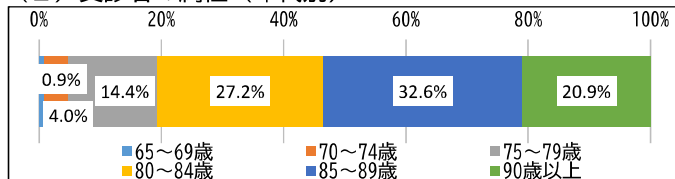
## ■第2段階（認知機能精密検査）の実施状況

受診者数：9,090人（平成31年2月～令和3年11月末まで）

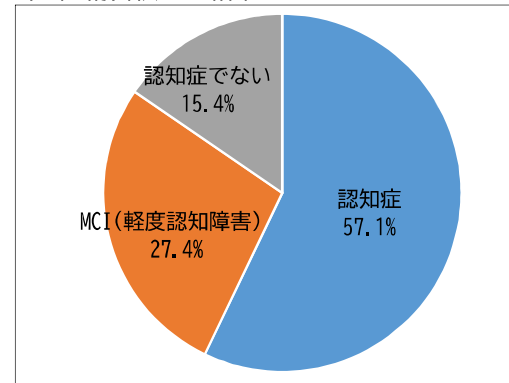
(1) 受診者の属性（性別）



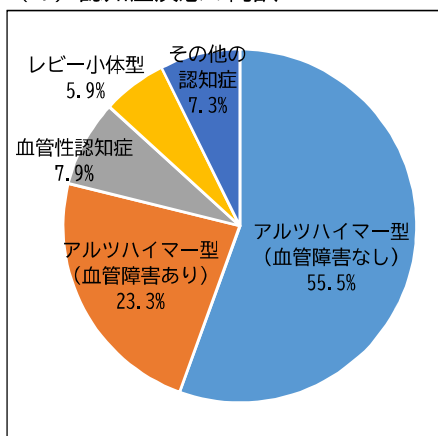
(2) 受診者の属性（年代別）



(3) 精密検査の結果



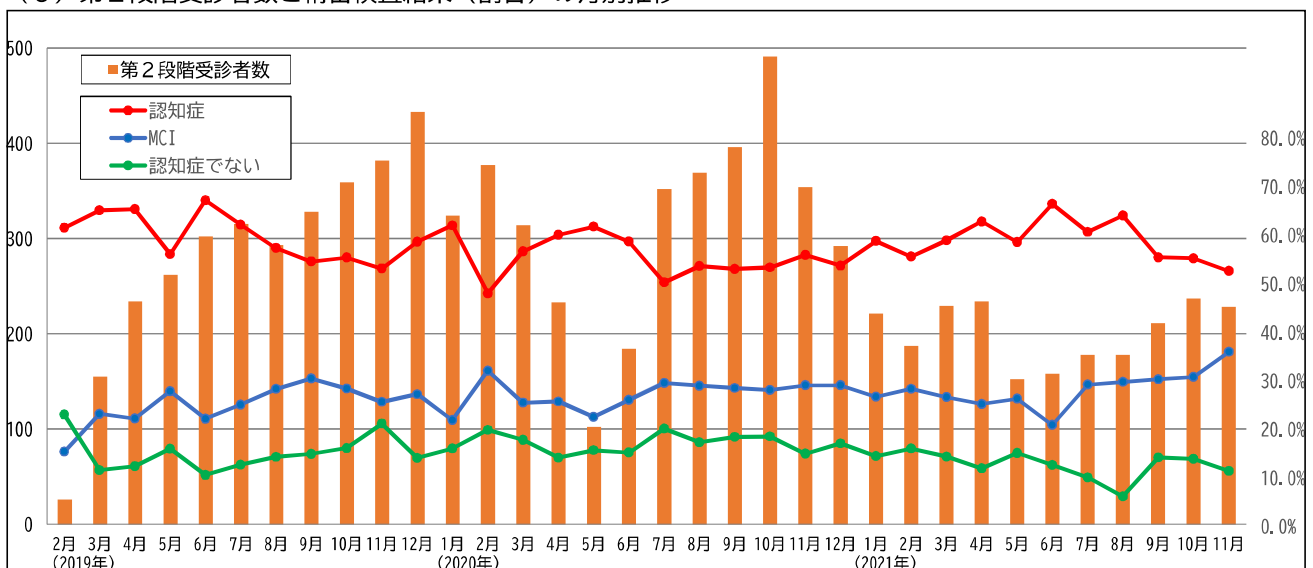
(4) 認知症疾患の内訳



(5) その他の認知症の診断内訳

前頭葉側頭葉変性症 (FTLD)	82
正常圧水頭症	57
神経原線維型認知症	39
嗜銀顆粒性認知症	23
ビタミン(B群等)欠乏症	13
パーキンソン病	12
外傷性	11
進行性核上性麻痺	9
硬膜下血腫	8
その他	125

(6) 第2段階受診者数と精密検査結果（割合）の月別推移



## ■認知症診断助成制度の実施状況（その他）

### (1) 事業費

（単位：百万円）

	H30	R元	R2	R3	計
診断助成制度	42	201	172	158	573

	R4	R5	R6	計
診断助成制度	187	187	184	558

※H30～R2は決算額、R3は予算額、R4～R6は計画額

※第1段階の検診料は6,620円、第2段階の自己負担分の助成金は平均で約7,500円

### (2) 他都市の状況（政令指定都市のうち医療機関で個別実施している都市）

都市名 (高齢者人口)	神戸市 (433,236人)	横浜市 (928,450人)	名古屋市 (575,747人)	さいたま市 (306,544人)
制度開始	平成31年1月	令和3年6月 (R2.1～3末、R2.8～ R3.3末はモデル実施)	令和2年1月	平成28年8月
第1段階の 検査ツール	①HDS-R ②DASC-21 ③独自の問診票 (BPSDチェック) ※上記をもとに医師が 診察し判断	①HDS-R ②DASC-21	①HDS-R ②DASC-21	①浦上式 ②BPSD検査
第2段階の 受診勧奨	紹介状（結果及び基礎疾 患・投薬内容等を記載） を交付して受診を勧奨	受診を勧奨（紹介 状は別途必要・有 料）	受診を勧奨（結果 通知書等を持参 し受診）	受診を勧奨（紹介 状は別途必要・有 料）
第2段階の 助成	あり（検査費用全 額）	なし	なし	なし
実施医療 機関数	第1段階：453箇所 第2段階：73箇所 (R3.12末)	第1段階：169箇所 第2段階：40箇所 (R3.11末)	第1段階：542箇所 第2段階：51箇所 (R4.2.1現在)	第1段階：239箇所 第2段階：44箇所 (R3年度)
受診者数	第1段階相当 17,585人 (R2年度) ※第1段階：44,129人 第2段階：9,090人 (H31.1～R3.11末)	第1段階相当 1,336人 (R2年度)	第1段階相当 7,825人 (R2年度)	第1段階相当 930人 (R2年度)

### (3) 国の動向等

○「認知症施策推進大綱」を策定（令和元年6月）。

- ・大綱に記述「いくつかの自治体において、早期診断の促進や行方不明時の捜索等と併せて、認知症の人の事故を補償する民間保険への加入を支援する取組が始まっている。これらの取組みについて事例を収集し、政策効果の分析を行う。」

○神戸市から国への要望

- ・早期診断のための認知機能検診にかかる財政支援
- ・認知症の人が起こした事故に対する救済制度の創設及び認知症予防施策の充実

## ■事故救済制度の支給状況

(令和元年度実績)

	給付の種類別	事案発生日	給付金額	事案の概要
事案1	給付金 (財物損壊給付金)	H31. 4. 25	15,932 円	他人の所有する自転車を自宅へ持ち帰ってしまい、その自転車に損傷を与えた。
事案2	賠償責任保険	R元. 5. 16	138,632 円	飲食店で食事中に座席を汚損した(飲食店は法人)。 ※支給対象者が法人のため見舞金の給付対象外。このため、賠償責任保険のみを支給
事案3	給付金 (財物損壊給付金)	R元. 6. 1	9,720 円	自宅で着替え中にバランスを崩して転倒し、室内のガラス扉の下半分を割ってしまった。 ※自宅の登記上所有者は認知症の方の家族

(令和2年度実績)

	給付の種類別	事案発生日	給付金額	事案の概要
事案4	賠償責任保険	R 2. 1 月末頃	19,800 円	通っているデイサービス施設内のカーテンレールを掴んで下に引っ張り、壊した。 ※支給対象者が法人のため見舞金の給付対象外。このため、賠償責任保険のみを支給
事案5	賠償責任保険	R 2. 3. 7	286,000 円	水漏れをおこし、下の階の天井や壁紙に損傷を与えた。 ※支給対象者が法人のため見舞金の給付対象外。このため、賠償責任保険のみを支給(建物の所有者は法人) ※下の階の住人の財物に損害なし。
事案6	給付金 (財物損壊給付金)	R 元年度	35,805 円	≪詳細は非公表≫
事案7	給付金 (財物損壊給付金)	R 2. 2 月頃	10,000 円	他人の所有する靴を持ち帰り、汚損した。
事案8	賠償責任保険	R 2. 10. 29	14,300 円	入院中にベッドのナースコールを破損した。
事案9	賠償責任保険	R 2. 8. 2	605,000 円	トイレを紙でつまらせ、下の階まで汚水が漏水。階下のキッチン設備やトイレのクロス等が汚水で濡れて使用できなくなった。
事案10	給付金 (財物損壊給付金)	R元. 9 月頃	36,300 円	隣の家の壁を鍵で傷つけた。
事案11	賠償責任保険	R 3. 1. 9	134,530 円	他人宅の鉄の門扉の取っ手(握り)を損壊した。
事案12	賠償責任保険	R 3. 2. 25	117,700 円	歩行中によろけてマンションのエントランスのガラスに頭をぶつけてガラスを破損した。 ※支給対象者が個人でないため(マンション管理組合)見舞金の給付対象外。 このため、賠償責任保険のみを支給

(令和3年度実績 ※令和4年1月時点)

	給付の種別	事案発生日	給付金額	事案の概要
事案13	賠償責任保険	R 3. 3. 2	50,000 円	新築の住宅（入居前）のトイレを使用し汚した。 ※支給対象者が法人のため見舞金の給付対象外。このため、賠償責任保険のみを支給
事案14	賠償責任保険	R 3. 7. 6	59,400 円	水漏れをおこし、下の階の住宅の漏水・漏電調査が必要となった。 ※支給対象者が法人のため見舞金の給付対象外。このため、賠償責任保険のみを支給（建物の所有者は法人） ※下の階の住人の財物に損害はなかった。
事案15	給付金 （財物損壊給付金）	R 3. 5. 25	計 54,690 円 （被害者2名 各 27,345 円）	自宅にいた際に窓にぶつかり、ガラスを割った。 ※自宅の所有者は認知症の方およびその家族2名であったため、認知症の方を除いた2名に、持分割合に応じて支給
事案16	賠償責任保険	R 3. 9. 4	153,890 円	炊事場から水漏れが発生して建物に被害が発生（建物所有者（法人等）へ支給。階下の住民の被害はなし）。
事案17	賠償責任保険	R 3. 12. 30	42,130 円	入居している施設のトイレと洗面台を紙やタオルでつまらせた（法人へ支給）。

≪支給状況≫（令和4年1月末時点）

	支給件数	支給種別	支給金額計
給付金	6 件	物損 6 件	162,447 円
賠償責任保険	11 件	物損 11 件	1,621,382 円
計	17 件	物損 17 件	1,783,829 円

※賠償責任保険の加入者数 6,827 人（令和4年1月現在）

※GPS安心かけつけサービス契約者数 167 人（令和4年1月現在）